



知って納得!!今に繋がる 日本の建築part2

長らくお待たせしました！日本の建築Part2です！
今回は鎌倉時代～江戸時代までご紹介させていただきます。

✓ 鎌倉時代～安土桃山時代

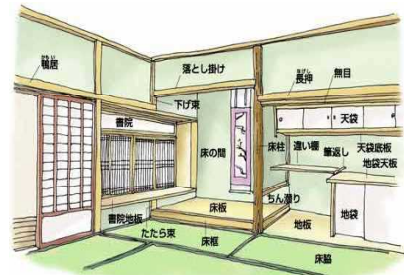


鎌倉時代からは見た目よりも実用性が重視されました。
敵からの攻撃に備え、部屋と部屋を切り離れた「武家屋敷」が作られました！
なお、畳が誕生したのはこの鎌倉時代からです。室町時代には「書院造」が誕生します。



書院造とは！？

平安時代に栄えた寝殿造を簡素化した建築様式のことです。
書院造では畳で床を敷き詰め、襖や障子で部屋を仕切っていました。
日本の家屋の基本の形ができた時代と言えます。



安土桃山時代には、書院造をベースに本来ならば別に立てる茶室を合体させた「数寄屋造り」が誕生しました！



「数寄」とは！？

和歌、茶の湯、生け花など風流を好むことで「数寄屋」は「好みに任せて作った家」といった意味で茶室を意味するそうです。



✓ 江戸時代

江戸時代にはさまざまな建築様式が生まれました！住宅の多様化が進み、職業や身分によって人々の住む家も大きく変わっていきました。地方の農村では茅葺屋根(かやぶきやね)の住宅が発達しました。一方、人口が密集する江戸の町では、「長屋」と呼ばれる集合賃貸住宅が一般的な住居だったようです。

Part2の鎌倉時代～江戸時代までご紹介させて頂きました。Part3をお楽しみに！

建設部 霧島



グーグル
マップで

光陽を評価
してください！

光陽との取引や仕事を通じての感想や評価を「グーグルマップ」に投稿をお願いします。皆様のお声は今後の業務に活かしていきます！



1906年頃 大原美術館

美術の授業から学ぶ新しい思考法『アート思考』について

「芸術の秋」ということで、話題の図書『13歳からのアート思考』末永幸歩・著(2020年ダイヤモンド社)を紹介します。

中学・高校で美術を教える著者が、歴史的なアート作品を題材にした6回の授業をとおり、「既成概念にとらわれない自由な思考法＝アート思考」を深めていく本です。

正解にとらわれずに、

自分だけのものの見方・考え方を大切にする

この絵は岡山県の大原美術館に展示されているクロード・モネ(1840-1926)の『睡蓮』です。
4歳の男の子が、鑑賞後の感想で「かえるがいる」「いま水にもぐっている」と答えたというエピソードが印象的でした。
この絵の中に動物は描かれていませんが、男の子は自分だけの見方でかえるを見出したのです。

これまで自分は絵と解説文の照らし合わせに終始し、男の子のように絵そのものを見ることはなかった気がします。
折しも、10/20(金)～来年1/28(日)上野の森美術館でモネの特別展『連作の情景』があります。
実物を観て何を感じ取れるか、ぜひ紹介されていた鑑賞法を実践してみたいと思っています。

裏面へ続きます→

常識の枠を超えて、新たな価値観・気付き・発見を生み出すこと

右の写真は、現代アートの先駆けとなったマルセル・デュシャン(1887-1968)の『泉』という作品です。男性用便器を横にしてサインをしたもので、これまでの常識の枠を超えて「アートとは何か」を提示した問題作です。

私にとっては難解な作品ですが、身の回りにある様々な商品のデザインのすばらしさへの気付きとなりました。ニューヨーク近代美術館(MoMA)には、テレビゲームの「パックマン」や「テトリス」も収蔵されているというのも驚きでした。



1950年レプリカ
フィラデルフィア美術館

「現代を生きぬく力」としての「アート思考」

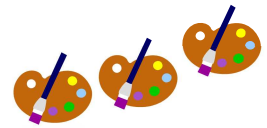


インターネットの普及による情報社会、価値観の多様化、社会環境の複雑化や変動性が進み、予測不可能な時代になってきています。

このような現代社会において小・中学校では、昔のような詰め込み型の教育ではなく、「読み書き・算数、情報」を基に、21世紀型能力として「思考力」が重要視されています。

その中で美術の授業では、「表現力」「創造性」だけではなく「思考力」を高めることが期待されています。この本は中学・高校生を対象に書かれた本ですが、ビジネス書としても新しいアイデアや課題の発見につながると人気です。

とても読みやすい内容なので、機会がありましたら手に取っていただくと幸いです。



OPEN

志木駅徒歩3分の管理物件に絵画教室・アトリエオープン

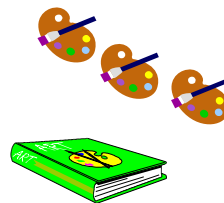


絵画造形教室でありデザイン事務所のアトリエFilo(フィーロ)が、志木駅徒歩3分の第5ナカタビル4階にオープンしました。

運営するのは教職に携わりながら、個展や各所での講演会・ワークショップなど幅広く活動をする【はっとり さおりさん】です。



所在地: 埼玉県志木市本町5-23-7
第5ナカタビル401
講師: はっとり さおり



はっとりさんは区立小学校で図工専科として長く活躍された、子供たちに大人気の先生です。アトリエFiloで、楽しみながらのびのびとお子様の「表現力」「創造性」「考える力」を伸ばしてみませんか？

紹介した『13歳からのアート思考』を勧めてくれたのははっとりさんと、バイタリティーと愛に溢れたお人柄からは常にワクワクとした楽しさが伝わってきます。高校・大学受験対策や大人向けのデッサン教室、オンラインクラスもあります。クリスマスに向けた体験教室もあるので、ぜひQRコードから「公式サイト」またはInstagramをご覧ください。トレードマークの「おニャン」のラインスタンプもおすすめです！



公式サイト



Instagram

営業部 入倉



かわらばん編集委員の交代

今月号よりかわらばん委員会のメンバーが一部入れ替わりました。弊社を身近に感じて頂けるよう、さまざまな情報をお伝えしていきたいと思っております。変わらぬご支援の程、宜しくお申し上げます。



株式会社光陽
〒351-0022
埼玉県朝霞市東弁財1丁目7番30号
TEL 048-465-1151 (代表)

●編集委員: 山川、川端ひ、霧島、大羽
老川、秋田、入倉
●発行日: 令和5年11月1日

休業日・夜間緊急連絡先
株式会社バイオニアコミュニティ
TEL 048-476-0260